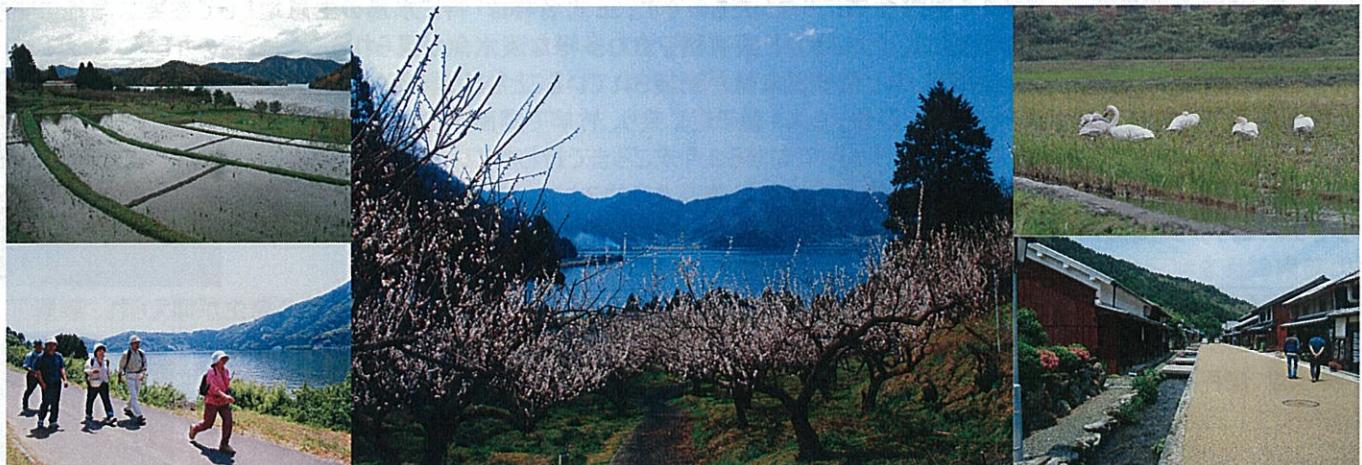


「にほんの里100選」 フットパス 梅の花咲く 若狭・三方五湖を歩く

2010年3月6日(土)～3月7日(日)2日間

三方五湖湖畔には、江戸時代から栽培が続く梅の里が広がっています。梅の花咲く湖畔のフットパスを、梅農家でもある若狭町の「語り部」の案内で歩きます（約7キロ）。また、05年にラムサール条約湿地に登録された三方五湖の環境や生き物など船上から学び、伝統漁法「たたき網漁」の様子を見学します。



左上から：切迫集落近くの田んぼと菅湖、遊歩道ウォーキング、三方五湖の梅林、冬水田んぼ、鯖街道・熊川宿



湖上館パムコ 三方五湖を望む、地ビールと梅風呂が自慢の宿
目の前に広がる、心洗われるような水月湖
にゆったりと旅情に浸り、梅のエキスタッフ
リの梅風呂で心身リフレッシュを。



【旅行条件書（要約）*必ずお読みください】

本旅行は株式会社 朝日旅行[以下当社]が主催する旅行で、この旅行にご参加されるお客様は当社に申し込み金 6,000 円をお支払い頂き、当社がお申込書を受諾したときに主催旅行契約が成立します。主催旅行契約の内容・条件は、本パンフレット、お申し込みの際お渡しする旅行条件書、出発前にお渡しする確定書面=最終日程【重要・個人情報の取扱いについて】

- 当社では旅行申込みの際に提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、必要に応じてお客様が指名した国内連絡先の方との連絡のために利用させていただきます。また、お客様がお申込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの受領のための手続に必要な範囲内で利用させていただきます。このほか、(1)会社及び会社と提携する企業の旅行を主とする商品やサービス、キャンペーンのご案内 (2)旅行参加後のご意見やご感想、アンケートのご提供のお願い (3)特典サービスの提供 (4)統計資料の作成 に、お客様の個人情報を利用させて頂くことがあります。
- 当社は当社が保有するお客様情報のうち氏名、住所、電話番号またはメールアドレスなどお客様への連絡にあたり必要となる最小限の範囲のものについて当社グループ企業との間で共有して利用させていただきます。当社グループ企業は、それぞれ企業の営業案内、催し物内容等の案内に購入いただいた商品の発送のためにこれを利用させていただくことがあります。なお当社グループ企業の名称及び各企業における個人情報管理者の氏名については、2009年4月1日以降、当社ホームページ <http://www.asahiryoko.com> をご参照ください。
- 当社は旅行先でのお客様のお買い物等の便宜のため、当社の保有するお客様の個人データを土産物店に提供することがあります。この場合、お客様の氏名、パスポート番号及び搭乗される航空便名等に係わる個人データを提出することによって提供いたします。なお、これらの事業者への個人データの提供の停止を希望される場合は、ご出発前にお申込み窓口までお申し出下さい。

表及び当社旅行業約款によります。

旅行代金に含まれるもの 旅行日程に明示した①送迎バス等利用交通機関の運賃 ②観光の料金／バス料金／料入場料 ③食事料金およびその税サービス料
旅行代金に含まれないもの 上記のほかは旅行代金に含まれません。①1人部屋使用追加料金 ②ご自宅から東京駅までの交通費 ③超過手荷物料 ④飲物代、電話電報料、クリーニング代、チップなどの個人的諸費用

取消料（必ずお読み下さい）

- ① 旅行開始日の前日より起算してさかのぼって 14 日目に当たる日以降 8 日目にあたる日まで 旅行代金の 20%
- ② 旅行開始日の前日より起算してさかのぼって 7 日目に当たる日以降 2 日目にあたる日まで 旅行代金の 30%
- ③ 旅行開始日の前日 旅行代金の 40% ④ 旅行開始日の当日 旅行代金の 50%
- ⑤ 無連絡不参加および旅行開始後 旅行代金の 100%

募集要項

旅行代金：68,000円（東京駅/新横浜駅発着） 48,000円 現地参加（米原駅集合、京都駅解散）

原則として添乗員は同行しませんが、森林文化協会スタッフが同行します。

食事：（朝1回・昼2回・夕2回 現地参加は夕食1回） 定員：25名 最少催行人数：15名

★湖上館パムコの宿泊は、和室（4人部屋）と洋室（ツイン）をご用意しています。一人参加の方は基本的に相部屋となります。お二人でお申し込みの方は、洋室のツインとなります。個室部屋につきましては、空室がある場合のみお受けします。一人部屋追加料金は、4,000円となります。

《旅のポイント》

三方五湖福井県若狭町と三方町にまたがる5つの湖です。それぞれ、日本海とのつながり具合やの度合いが異なり、海水・汽水・淡水湖に分かれています。①三方湖（みかたこ）は唯一の淡水湖。夏にはウナギ漁が、冬季にはコイヤフナ漁（たたき網漁）が行われます②水月湖（すいげつこ）は淡水と海水が混じる汽水湖。5湖中最大の湖です③菅湖（すがこ）も汽水湖です。カモ類など渡り鳥がたくさん見られます④久々子湖（くぐしこ）は汽水湖。日本海から海水が流入し、スズキ、ボラ、シジミなどが生息しています⑤日向湖（ひるがこ）は完全な海水湖。フグやハマチの養殖が行われています。



ラムサール条約登録湿地三方五湖は2005年にラムサール条約湿地として登録されました。ラムサール条約は、1971年、ラムサール（イラン・カスピ海湖畔の町）で開かれた国際会議にちなんだものです。正式名称は「特に水鳥の生息地として重要な湿地に関する条約」。三方五湖には、ハス、イチモンジタナゴ、ナガブナなど固有種を含む多様な淡水魚が見られること、多種のカモ類、オジロワシやオオワシなどが渡ってくること、また、「たたき網漁」など伝統的な漁が継続されていることなどが評価されました。

たたき網漁三方湖で江戸時代から続く伝統漁法。2人1組で船に乗り、竹竿で湖面をたたき、コイヤフナを網に追い込む漁。魚の動きがにぶくなる冬季、11月下旬から3月末ごろまで行われています。 ⇒



水月湖畔のフトパス切追（きりょう）集落から海山（うみやま）集落まで約7キロ、三方五湖・水月湖畔沿いを歩きます。三方五湖周遊路（「日本の道100選」）・近畿自然歩道の一部で、道沿いには、日当たりの良い山麓南斜面を利用して梅が栽培されています。季節は初春。梅が花盛りです。



ふゆみずたんぼ三方五湖周辺に、冬のあいだも水を張ったままにしておく田んぼが増えています。雑草の発生が抑えられ、無農薬・有機栽培の技術として用いられています。ハクチョウなどの水鳥にとってもかっこうの工事場やねぐらになっています。

若狭の梅江戸時代（天保年間）から栽培が続けられています。梅干し用の「紅映」と、梅酒用の「剣先」が主要品種です。三方五湖畔を中心に約500ヘクタールが栽培され、環境に配慮することを目的に、梅農家すべてがエコファーマー認定を受けています。 ⇒

若狭街道（鰐街道）「熊川宿」若狭の小浜と京都を結ぶ道が「若狭街道」です。熊川宿は、若狭側の拠点となる宿場町。若狭の海でとれた多くの海産物が熊川に集まり、人の背や馬や荷車で京都へと運ばれて行きました。若狭と京都を結ぶ道はいくつもありますが、運ばれた荷でもっとも代表的なものが鰐だったため、これらの道は総称して「鰐街道」と呼ばれています。中でもいちばんポピュラーなルートが熊川宿を通る道でした。

熊川宿は1996年、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、整備が進められています。

日次	行程			食	
① 3/6 (土)	08:33 東京駅より東海道新幹線ひかり403号にて米原へ。（新横浜駅発08:52）	敦賀のさかな街にてお造り定食を召し上がる後、三方五湖へ。梅の花咲く湖畔のフットパス（若狭自然歩道）／約6キロ【案内】若狭町の語り部・山本和男さん（梅農家）	《湖上館パムコ泊》	昼 夕	
	10:49 米原駅到着後、バスにて高速道路を敦賀へ。				
	昼 敦賀のさかな街にてお造り定食を召し上がる後、三方五湖へ。梅の花咲く湖畔のフットパス（若狭自然歩道）／約6キロ【案内】若狭町の語り部・山本和男さん（梅農家）				
② 3/7 (日)	夜 ホテルにて夕食の後、交流会				
	朝 朝食後、船で三方五湖へ（環境学習） 【講師】「ハスプロジェクト協議会」（自然再生グループ）メンバー 【話題】ラムサール登録湿地、暮らしと湖、漁、魚・水鳥などの生き物と伝統漁法「たたき網漁」見学	【説明】下吉田地区（旧上中町）の農家 午後 名物の鰐寿司を召し上がる後、若狭街道「熊川宿」フットパス／約1キロ 【案内】ボランティアガイド。その後、バスで若狭街道（鰐街道）を通って京都へ。 18:00 解散：京都駅 18:29 京都駅より東海道新幹線ひかり418号にて、東京駅へ。（新横浜駅着20:54） 21:10 東京駅到着後、解散。		朝 昼 夕	
	午後 名物の鰐寿司を召し上がる後、若狭街道「熊川宿」フットパス／約1キロ 【案内】ボランティアガイド。その後、バスで若狭街道（鰐街道）を通って京都へ。 18:00 解散：京都駅 18:29 京都駅より東海道新幹線ひかり418号にて、東京駅へ。（新横浜駅着20:54） 21:10 東京駅到着後、解散。				

企画主催：(財) 森林文化協会

お問い合わせ・お申し込みは 旅行企画・実施 株式会社朝日旅行

〒105-8548 東京都港区芝大門1-4-8 浜松町清和ビル2階 株式会社朝日旅行 営業部:菅原・柳沢・鹿野

（観光庁長官登録旅行業第97号 JATA正会員ボンド保証会員 総合旅行業務取扱管理者：鹿野 真澄）

☎03-5777-3393 FAX03-5777-3395 月～金(9時半～18時)土・日・祝日は休業